

あなたもチャレンジ! 家庭菜園 ジャガイモ

ジャガイモは早生で食味がよく、育てやすい男爵がもっとも一般的ですが、早生種のワセシロ、メークイン、晩生種の農林一号などが春作に適しています。秋まきではうんぜん、たちばな、でじまなどがあります。最近では赤丸、レッドムーンといった皮が赤い品種も出回っています。南アメリカが原産で、生育適温は15~24℃。17℃前後で塊茎(イモ)を形成し、30℃以上になると塊茎が形成されなくなります。霜に弱く、早植えて晩霜にあうと地上部が枯れてしまいます。

畑の準備

苦土石灰150g/m²

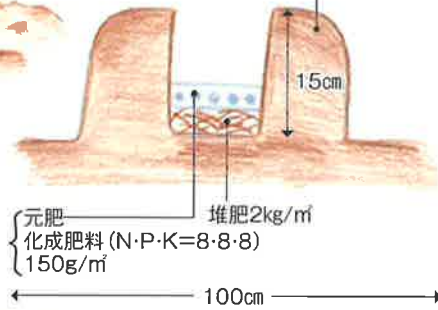


冬の間に深めに荒起しをしてpH調節しておく

土を埋め戻す

畝づくり

ジャガイモは生育期間が短いので、元肥を主体に施す。畝の中央部に深さ15cmの溝をつけ、元肥を施した後、5cm土を埋め戻す

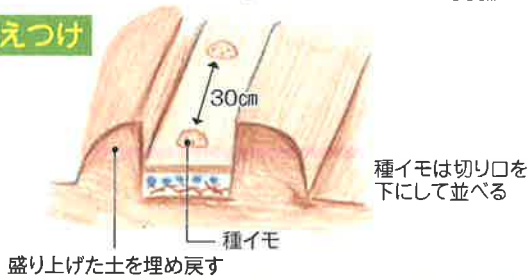


元肥
化成肥料(N・P・K=8・8・8)
150g/m²

堆肥2kg/m²

100cm

植えつけ



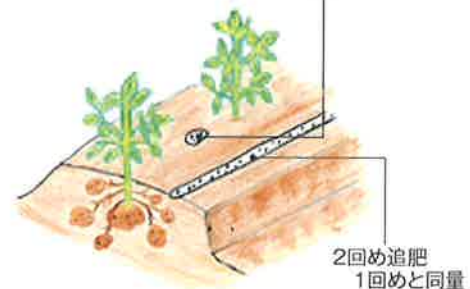
種イモは切り口を下にして並べる

種イモ

盛り上げた土を埋め戻す

追肥・土寄せ

1回目追肥
化成肥料(N・P・K=8・8・8)
50~60g/m²



2回目追肥
1回目と同量

間引きが終わったころ、株元に1回目の追肥をする。その15日後に2回目の追肥と土寄せをする。土寄せ不足だと、イモが露出して緑化してしまう

収穫

茎葉が黄色くなってきたころ、晴れた日に収穫する

